

平成29年度 関西福祉科学大学高等学校 学校運営計画及び学校評価

1 めざす学校像

- ・建学の精神「感恩」の実践、校訓「明朗・友愛・誠実」を生かした校風を確立する。
- ・基本的生活習慣を身につけ、優れた教養と学力をそなえた生徒を育てる。
- ・感謝の心を持った豊かな情操を育み、自立心のある人の育成を図る。

2 中期的目標

1 教育の質の向上

(1) 授業の質の向上、ICT機器の活用

- ・授業アンケートや公開授業等を活用し、授業の質の向上を目指す。
授業アンケートの総体平均73点をめざす。
- ICT機器（教室にある電子黒板機能付きのプロジェクター）やICT教室を活用し、より「わかりやすい授業」の実践を進める。

(2) 4コース体制の充実と見直し事項の検討

- ・平成25年度より始まった4コース制（特別進学Ⅰ、特別進学Ⅱ、進学、保育進学）について、現状を把握し、コース内容の見直しを含め、校務分掌毎に改善策を検討し、教育内容をより良いものにしていく。

(3) 進学実績の向上

- ・特別進学Ⅰコースを中心に、特別進学Ⅱコースからの合格者も合わせて、関関同立と産近甲龍40名の合格を目指す。

(4) 課外活動・クラブ活動の充実

- ・課外活動を充実させ、昨年度のクラブ入部率43.4%を55%以上となることを目指す。

(5) 学園総合力の向上

- ・併設の大学、短期大学、幼稚園との連携を密にし、学園総合力を向上させる。具体的には大学、短期大学との連携で進路意識を高めるプログラムを実施し、保育進学コースについては、短期大学教員による週1時間の保育に関する知識、技能を身につける授業を実施する。
- ・併設幼稚園では、複数回保育実習を実施する。
- ・Tama Project 2017の開催。

2 組織拡充

- ・教育力の向上と積極的な広報活動により、生徒数1,000名を堅持できるようにする。

3 教育環境の充実

(1) 校内生活および学習環境の整備

- ・平成29年4月高校新校舎での新生活がスムーズにスタートし、整備された学習環境が積極的に活用できるようにする。また、高校1号館改修工事により、学習環境が低下しないように学園内施設を活用し、臨時の特別教室を確保する。改修工事終了後は、速やかな移動を計画実施する。

(2) 日常の生活の中で省エネ教育を実践する。

4 地域貢献 社会に必要とされ、愛される学園

(1) 全校生徒を対象とした地域周辺の美化活動の実践を継続する。

(2) 地域主催行事へ積極的に参加する。具体的には市民フェスティバル、交通安全啓発運動などへ積極的に参加する。

- ・平成27年度より実施している地域連携プログラム「歴史・科学の市民講座」、「卓球・バレーボール教室」（通年）を地域のこどもたちが多数参加できるように継続して実施する。

3 本年度の取組内容及び自己評価

	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価	学校関係者 評価
1 教育力の質の向上	(1) 授業の質の向上	(1) 年度当初に各教科・各授業に対し「年間授業計画」を作成する。教科内で確認の上、教務、管理職でも確認のもと授業を進める。各学期終了後、実施内容、進捗、考查結果の状況など確認し、次学期に役立てる。 ・教科主体で公開授業、その後の反省会を行う。 ・授業アンケート（7月：1学期期末考査後実施）の結果を基に、各教員、教科内で検証、今後の対策を練る。 ・満足度調査（10月：2学期中間考査後実施）については、分析の上、職員会議で報告。関係部署で検証の上、今後の課題を検討、全体で共有する。	(1) 授業アンケートの総体平均値が73点となること。	(1) 授業アンケートでの平均が73.3点（昨年度71.5点）、目標値に到達した。教科、先生方の努力の結果である。 今後さらにICT機器、ICT教室を活用し、「わかる授業」をすすめる。難しい問題をよりわかりやすく教え実力をつけることを進めたい。 (○)	目標を達成した。 今後更なる努力を期待する。(○)
	(2) 4コース体制の充実と見直し事項の検討	(2) 学年会議、コース会議を通じて、コース内での取り組み内容を吟味する。現状を把握し、校務分掌毎に課題を見つけ改善策を検討し、教育内容をより良いものにしていく。	(2) 高校生活満足度調査の「学校生活の充実度」に関する質問の肯定的回答率がそれぞれ60%以上であること。	(2) 高校生活満足度調査の「学校生活の充実度」に関する質問の肯定的回答率は、「充実度」56.7%（昨年度59.7%）であり、コース内容での取り組み等が不十分であった。今後、コースの課題に取り組んでいきたい。(×)	日々充実していると実感できる学校生活を期待する。(×)
	(3) 課外活動・クラブ活動の充実	(3) 生徒会と各クラブが連携し、クラブ紹介の方法を回数も含め工夫する。また積極的にクラブ体験を受け入れるようにする。 ・生徒の意見も参考にし、年間行事を見直し、生徒会担当教員で検討の上充実させる。	(3) クラブ入部率55%以上であること。	(3) 第72回大阪高等学校総合体育大会女子総合成績 第4位（昨年度6位） 大阪私立中学校高等学校総合体育大会女子総合成績 第3位で表彰を受けた。文化系、運動系共に活発に活動し、近畿大会出場などの結果を残したが、クラブ入部率は、45.3%で、55%には届かなかった。 (△)	活発な課外活動、クラブ活動の活性化を望む。(△)
	(4) 進学実績の向上	(4) 進路指導部を中心に進路指導計画を策定の上、各教科学年との連携を基に指導を行う。	(4) 卒業生徒の進路決定率100%。 ・関関同立と産近甲龍に40名以上の合格。 ・併設大学・短大への進学者110名以上。	(4) 進路決定率96.0%（昨年度95.9%）。(△) ・関関同立と産近甲龍以上36名合格（昨年度25名）。(△) ・併設大学・短大への進学者数93名（昨年度102名）。(△)	生徒の満足する進路決定と進学率の向上を期待する。(△)
	(5) 学園総合力の向上	(5) 学園内大学・短大・幼稚園との連携に関する担当者会議を行い、これまでの取り組み内容をベースに、課題や改善点を見だし、より良い取り組みを作り上げる（併設校の入試説明会、保育進学コース授業など）。 ・玉手山学園祭 Tama Project 2017 の開催。	(5) 実施内容と生徒の満足度を基準とする。	(5) 内容、生徒の感想ともに良好。 (○) ・Tama Project 2017 では来場者、関係者合わせて約5200名となり、大盛況であった。(○)	良好と評価できる。(○)
2 組織拡充	組織拡充	・入試広報部と運営委員により構成される「入試委員会」で対外的な募集・広報活動計画と校内における入試説明会のプランを策定し、全教職員で内容を共有することで、学校運営への参画の意識を一つにする。	・入試説明会、体験入学の参加人数が昨年度（2173名）を上回ること。 ・新入生350名、生徒総数1000名。 ・卒業率96%以上を実現する	・今年度の学校・入試説明会、体験入学の参加人数は、計2221人で昨年度比48人増加した。(○) ・今年度当初の生徒総数は1085名となったが、新入生は367名で昨年度より43名の増加となった。(○) ・今年度卒業生は、353人（入学時378人）、卒業率は93.4%であった。(△)	良好と評価できる。(○) 良好と評価できる。(○) 卒業率向上のため努力する。(△)
3 教育環境の充実	校内生活および学習環境の整備	・4月より新校舎での生活が円滑に進むように、エレベーターなど利用マニュアルの設定、避難経路の確認など申し合わせ事項の確認をすすめる。 ・1号館の改修工事により学習環境が低下しないように、学園内の施設を活用し、臨時教室を設置運用する。改修工事後は、速やかに移動完了するよう計画する。 ・日頃から「ものを大切にする意識」、「省エネの意識」を、教職員、生徒の間で話題にする。 ・生徒の清掃の模範として、清掃業者に2週間に1回トイレ清掃を依頼。	・計画事項を無事完了すること。	・計画事項を無事完了。(○)	良好と評価できる。(○)

4 地域貢献	(1) 美化活動の実践	(1) 生徒会美化委員会が立案、主催する、本校の伝統である「美化ボランティア」清掃活動を、今年度も実施する。1 回目は全校生徒(希望者)対象で6月中旬実施、2 回目は全生徒対象に1 年(1 0 月下旬)、2 年(1 月下旬)を予定する。	(1) 計画通り実施する。	(1) 計画通り実施できたが、次年度はさらに良いものを目指し、検討する。(○)	良好と評価できる。(○)
	(2) 地域行事への参画	(2) 本校教員が地域と連携し、市民講座やスポーツ教室を実施する。 ・歴史・科学の市民講座を実施する。 ・卓球(年間13回実施)、バレーボール(年間20回実施)のスポーツ教室を実施する。 ・地域の市民フェスティバルに参加する。 ・地域の防災マップ作りへ参加する。	(2) 予定通り参加する。	(2) 予定通り実施。(○) 歴史講座18名、 科学講座17名参加。 スポーツ教室は卓球30名、 バレーボール55名参加。 市民フェスティバルに参加。 防災マップ作りへ3名参加。	良好と評価できる。(○)

【学校教育自己診断の結果と分析・学校評価委員会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析

学校教育自己診断の結果

(1) 建学の精神、校訓

・高い評価の項目

- 「建学の精神『感恩』が生徒によく理解されている」(81.3%)
「校訓『明朗 誠実 友愛』が生徒によく理解されている」(75.0%)

(2) 学習・進路

・高い評価の項目

- 「子どもによると授業はわかりやすいと言っている」(75.0%)
「各種検定試験に合格するための指導が関係教科でなされている」(81.3%)
「進路に関する相談はきめ細くなされている」(87.5%)

・低い評価の項目

- 「子どもは家庭で積極的に学習に取り組んでいる」(43.8%)
「進学補講の参加者は熱心に参加している」(50.0%)

進路指導については、授業外学習の定着や進学補講の見直しを検討する。また、教科会議を通じて教員一人ひとりが、スキルアップをして、ICT機器(教室にある電子黒板機能付きのプロジェクター)やICT教室を活用し、より「わかりやすい授業」の実践を進めていきたい。

(3) 課外活動・クラブ活動

・高い評価の項目

- 「生徒会活動は活発に行われている」(93.8%)
「部活動は全般にわたって活発に行われている」(100.0%)
「クラブ顧問は日々の活動に対し、十分な指導を行っている」(87.5%)
「学校行事は生徒にとって魅力あるものとなっている」(93.8%)

・低い評価の項目

- 「学校行事は生徒にとって魅力あるものとなっている」(教職員39.0%) 同じ項目でも保護者と教職員の捉えかたは違っている。

生徒会が中心となり、行事の見直しより魅力的な新しい行事を検討する。また、クラブ入部率を増加させ、生徒の高校生活が充実するよう指導の充実を一層図っていききたい。

(4) 生徒指導・教育相談

・高い評価の項目

- 「制服の着用、頭髪等身だしなみを整えるよう指導を徹底されている」(100.0%)
「生徒指導において、家庭と緊密な連携が出来ている」(93.8%)
「早期指導(個人面談、HR指導、初期対応など)に学校全体で取り組んでいる」(87.5%)
「体調不良等心身の悩みを訴える生徒に対して、親身に対応している」(93.8%)

生徒指導部が中心となり、高校生活満足度調査の結果を参考にして、夏服、女子の制靴の改定などの検討を進める。

(5) 情報公開

・高い評価の項目

- 「本校のホームページを保護者はよく見ている」(81.3%)
「本校はホームページで保護者の知りたい情報を発信している」(87.5%)

・低い評価の項目

- 「保護者、中学校、塾等に普段の授業をよく公開している」(27.1%)

・全体的な情報公開について

塾長説明会で初めて授業を公開した。
保護者や外部に対しても、体育祭、文化祭はもちろん、日々の学校生活を定期的に発信する。普段の学校生活や修学旅行などをタイムリーにホームページに公開する。また、校内設置のデジタルサイネージでは、委員会活動やクラブ活動の結果報告を日々更新していく。

(6) 施設・設備・その他全般

・高い評価の項目

- 「施設・設備は充実している」(93.8%)
「教員はチームワークがとれており、どの教員も一貫した対応をしてもらえる」(100.0%)
「どの教員も相談しやすく、誠実に対応してくれる」(93.8%)

学校評価委員会からの意見

- ・新校舎が完成し、電子黒板機能付きプロジェクターが各教室に整備され、ＩＣＴ教室や多目的室、大型エレベーター２基配備されるなど、施設設備が整い、教育環境が向上している。また、生徒収容に関しては、昨年度の入学生を超える新入生を迎え、在籍総数１０００名以上を堅持できたことを評価されている。
- ・学校全体、学園全体にエネルギーを感じると評価頂いた。
- ・地域住民の委員からは、学校が始まってからの時間帯に生徒をほとんど見かけないので、遅刻生徒がほとんどないように思う。また、電車内でのマナーや制服の着こなしが良く、高校生らしく美しいので好感がもてると評価頂いた。
- ・地域の子どもたちが参加する、歴史・理科の市民講座や卓球・バレーボールのスポーツ教室の取り組みや美化ボランティアに対する評価は大きく、特に美化ボランティアは、地域住民も高齢者が多くなったので、大変助かると感謝して頂いた。
- ・クラブ活動から得るものは大きく、入部率を上げるために、入部していない生徒になぜ入部しないのかアンケートを取り、通学時間がかかるのであれば週２、３回のクラブ活動や短期的な取り組みを企画する。また、参加しづらい条件を改善するなど、取り組みやすい環境を整えてみてはどうかと提案頂いた。
- ・生徒のエネルギーを発揮できる行事や学年の取り組みを企画し、導いてあげて欲しい。どう先生方が仕掛けるかが大事だと思うと意見を頂いた。
- ・先生方が、生徒を注意指導した後のフォローは素晴らしいと評価され、本校の教職員が、生徒一人ひとりを大切にし、何より「面倒見のいい」教育を継続して実践していることを高く評価して頂いた。

以上の意見を受けて、次年度に向け今回の提言や意見、課題を教職員全員が真摯に受け止め、保護者や地域の方にも協力を求めながら、目的達成に向け努力していきたいと決意を新たにしました。